

大崎高等技術専門校

50年を超える歴史誇る
電気・建築分野の
即戦力を養成する

大崎高等技術専門校は現在、1年課程の電気科（定員20人）と、2017年、2年課程として新たに設けられた木の家づくり科（定員15人）の2科体制となっている。電気科は第二種電気工事士の養成施設で修了と同時に免許を取得可能。さらに上位免許の第一種電気工事士においては30%程度の全国合格率を、例年大きく上回っており、19年は71%を達成している。

木の家づくり科では、その名前のとおり、木造建築に必要な技術を学ぶ。梅津美千代指導員は「2年間、大工の基礎をしっかり学べば、就職してもすぐに即戦力として働けます」と話す。実際、修了生の離職率は低く、その要因は大工が行う仕事の内容全般を就職前から理解していることに見ることができると言う。また、長南守広上席指導員は「インターンシップを全員に経験させるので、就職先のミスマッチも起こりにくい」と話す。なお、同科は東北職業能力開発大学校と連携、希望者は二次次に応用課程の「建築施工システム技術科」を受験できるのも一つの特徴となっている。



長南上席指導員は技術や知識の習得が就職後、大きく生きると話す

木の家づくり科一年次を受け持つ梅津指導員（左）は基礎の重要性を説く

生徒は具体的な技術を実践で学んでいく

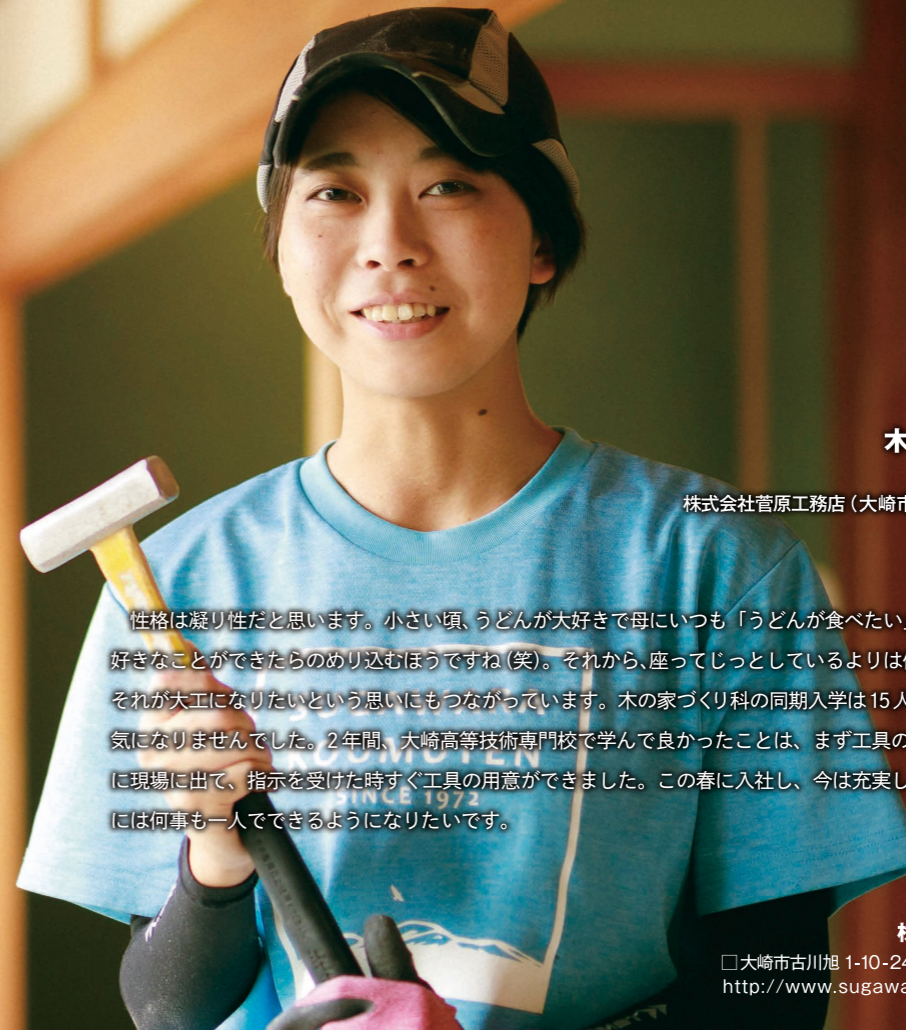
宮城県立大崎高等技術専門校

□所在地 / 大崎市古川米倉字上屋敷 51 □設置科概要 / 電気科、木の家づくり科を設置。それぞれ第一種電気工事士、2級建築大工技能士など様々な資格取得に挑戦できる。
TEL 0229-22-1357 <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/oskogi/>



木の家づくり科修了（2020年）

株式会社菅原工務店（大崎市） **長田 結衣** さん
Yui Osada



性格は凝り性だと思います。小さい頃、うどんが大好きで母にいつも「うどんが食べたい」と訴えていたのを覚えています。好きなことができたらのめり込むほうですね（笑）。それから、座ってじっとしているよりは体を動かすほうが性に合っていて、それが大工になりたいという思いにもつながっています。木の家づくり科の同期入学は15人中、女性は私だけでしたが、全然気になりませんでした。2年間、大崎高等技術専門校で学んで良かったことは、まず工具の名前を覚えられたことです。実際に現場に出て、指示を受けた時すぐ工具の用意ができました。この春に入社し、今は充実した毎日です。今から2、3年のうちには何事も一人でできるようになりたいです。

株式会社菅原工務店

□大崎市古川旭 1-10-24 TEL 0229-23-3670
<http://www.sugawara-koumuten.com/>



宮城障害者職業能力開発校

多種多様なカリキュラムで
障害者の自立を後押しし
精神障害者向け訓練も用意

宮城障害者職業能力開発校は訓練科目に1年訓練と短期訓練を用意している。1年訓練では身体障害者を対象にしたWebデザイン科、OAビジネス科、知的障害者を対象にした総合実務科は販売管理コース、手工芸コース、物流ワークコースが設けられている。短期訓練にはオフィス実務科、重度視覚障害者を対象にしたパソコン基礎科、そして、2018年からは精神障害者を対象とする職域開発科を設置、オフィスワークコースが先んじて始まっており、いよいよ10月からは物流サービスコースもスタートする。教科書代は本人負担だが、授業料は無料。手話通訳員や生活指導員がおり、寮も併設されている。

小野精一 副校長は「短期訓練ではありませんが、精神障害者に向けた職域開発科もあることは意義深いことだと考えています。わが校は一人一人の障害特性に合わせたきめ細かい訓練指導を徹底しているため、安心して入学してきてほしいです」と語る。

授業外のサポートも手厚く、多くの卒業生たちを就職につなげているという。

総合実務科販売管理コース修了（2020年）

大井 匠 さん 株式会社藤崎（仙台市）
Takumi Oi

私が担当するバックヤード業務はいろんな仕事があって時間はあっという間に過ぎていきます。在庫チェックや値札付けなどもたいぶ上達しました。佐藤さんと一緒に入社できたのはすごくうれしかったです。2人でいろんなことを話し合います。これからどんどん新しい仕事にチャレンジしていきたいです。

株式会社藤崎

□仙台市青葉区一番町3-2-17
TEL 022-261-5111 <https://www.fujisaki.co.jp/>



総合実務科販売管理コース修了（2020年）

佐藤 みずほ さん 株式会社藤崎（仙台市）
Mizuho Sato

生鮮食品売り場で働いています。お客様やスタッフのみんなとお話するのが楽しい毎日です。初めてのお給料で父にペンダント、母に靴をプレゼントしたところ、すごく喜んでくれました。宮城障害者職業能力開発校に入学したのは接客業に就きたかったからです。学んだことが今にとっても生きています。



小野精一 副校長は「一人一人に合った訓練を提供する」と強調した



手工芸コースではミシンを使って実際に縫製作業も行う



様々な機器の実際の使い方を学ぶ

宮城障害者職業能力開発校

□所在地 / 仙台市青葉区台原 5-15-1 □訓練概要 / 実習時間を年間800から1,000時間程度設定。各科・コースできめ細やかな指導を行う。
TEL 022-233-3124 <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/miyashou/>

